

エコたび栃木

修学旅行

取組のしおり

基本の取組

1 歯ブラシ・はみがき粉の持参
・宿泊施設の使い捨て備品を使わないことでごみを削減できます。

2 マイバッグ・ボトル（水筒）の持参
・水筒を使うと飲料容器のごみを削減できます。

3 食べきり・食べ残しゼロ
・「いただきます」の際に、「残さず食べましょう！」と声をかけると食べ残しを減らすことができます。

エコたびチャレンジ

右に記載した基本の取組以外に、学校（クラス単位で異なる取組でも可）単位の独自の取組を考え、実践してみましょう。

エコたびチャレンジ取組内容

<私の取組>

「エコたび」では、私たち一人ひとりの行動が大切です。旅行の前に「目標」を設定し、具体的な「取組」を書いてみよう。旅行後に自分の取組をふりかえろう！

目標

取組

ふりかえり

食品ロス

みんなの取組

一人ひとりの取組

「食品ロス」を減らそう

「もったいない」を、ひとつずつ。

すこし詳しく
みてみよう！

栃木県
© 栃木県 とちまぐん

○なぜ、食品ロスが問題になっているの？

大量の食品が無駄に廃棄され、環境への悪影響も考えられるからです。

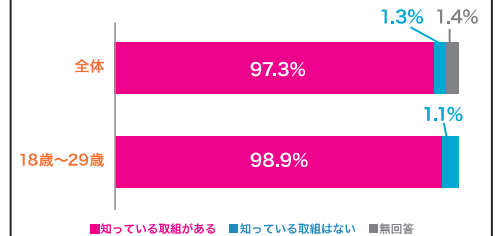


【内訳】 家庭系食品ロス 236万トン
事業系食品ロス 236万トン

○食品ロスの認知度について

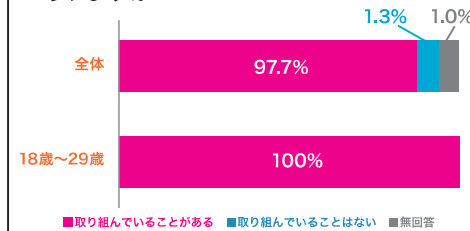
食品ロスの問題を知っていますか？

（2024年度県政世論調査結果）



○食品ロス削減取組のためにやっていること

食品ロス削減のためにやっている取組はありますか？（2024年度県政世論調査結果）



○食品ロスを減らすためにできることは？

栃木県では、「とちキャラーズの3きり運動」を進めています。

料理はおいしく。「食べきり！」

食材はムダなく。「使いきり！」

生ゴミはギュっと。「水きり！」

★とちぎカーボンニュートラル15
アクション県民運動も実施中！



（作成）栃木県 環境森林部 資源循環推進課
TEL 028-623-3228

海洋プラスチックごみ問題(身近なごみの問題)

私たちにできること

13

リメイク Rethink【考える】
 ～本当に必要なものかよく考えよう～
 そのしぼは、スプーンや
 フォークは本当に必要ですか？

家にあるモノを使えば、レジ袋だけでなく、スプーンなどももらわなくていいね。

14

リフューズ Refuse【判断する】
 ～不必要なものはきっぱりと断ろう～
 いらないモノを増やさない。

本当に必要かどうか考えて、なくてもいいモノはもらわない、増やさない。

15

リファイン Refine【しっかり分別する】
 ～捨てる時には分別しよう～
 リサイクルのことを考えて手間をかける。

モノを捨てる時には、リサイクルしやすいようにしっかり分別しよう。

このマンガが動くまるよ！

<https://youtu.be/UQXcqIGyVTQ>

9

ごみの量を減らそう！

マイバッグ、マイボトル、詰め替品を利用することでごみを減らせるよ。

10

出たごみはきちんと処理しよう！

リサイクルできるように、きちんと分別することも大事だね。

11

見つけたら拾おう！

ポイ捨ては絶対にダメ！最近ではマスクのポイ捨てが多くなっているよ。

12

3R(リデュース、リユース、リサイクル)「プラス3R」

リデュース、リユース、リサイクルのほかに、プラス3Rもあるよ。

5

紫外線

紫外線や波のチカラで砕けて、マイクロプラスチックになることも。

6

川から海にきたごみ
 その他約30%
 約70%

海のごみの約7割は、私たちが生活する街から川を通じて流れ込んだ。

7

栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言

2019年8月 栃木県及び県内全25市町は
 栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言を発表

そのため、県と市町は、プラスチックごみをゼロにすることにに向けて行動することを宣言したよ。

8

「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」の活動として
プラス3Rにみんなで取り組もう

1

栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言
プラスチックと上手に付き合おう！

2

私たちの日常生活を支えるプラスチック製品

身の回りを見渡すと、色々なところでプラスチックが使われているね。

3

世界から1年間で800万トン、5万機相当

世界全体では、一年間で海に流れるプラスチックごみは800万トン。

4

2050年には同じ重さに？

海のプラスチックごみの重さと海にいる魚の重さが同じになってしまうよ。